

# Paulownia

建学の精神 神を畏れることは知識のはじめである

Vol.322  
2018.5.29

Paulownia とは中部学院のシンボルである「桐」の英語表記で、かつては大学祭を「ポローニア祭」と呼び、学生に親しまれてきました。

## 硬式野球部

# 岐阜リーグ 2季連続 13度目優勝

## 東海選手権は1勝1敗 神宮に一步及ばず



春季岐阜リーグを制し、東海選手権に出場を決めた硬式野球部＝揖斐郡大野町、大野レインボースタジアム

### 東海地区大学野球 「岐阜学生野球 2018 春季リーグ」

4月1日	○	16-0	岐阜大	(6回コールド)
4月2日	○	5-1	岐阜大	
4月7日	○	2-0	岐阜聖徳学園大	
4月8日	○	9-0	岐阜聖徳学園大	
4月22日	○	9-5	岐阜経済大	(7回コールド)
4月23日	○	7-0	岐阜経済大	
4月28日	●	2-3	中京学院大	
4月29日	○	10-2	中京学院大	
4月30日	○	2-1	中京学院大	
5月12日	●	1-2	朝日大	
5月13日	○	3-2	朝日大	
5月14日	●	2-4	朝日大	

### 東海地区大学野球春季選手権大会

5月26日	○	3-1	四日市大
	●	1-9	日大国際関係学部

東海地区春季岐阜学生リーグで、硬式野球部が2季連続13度目のリーグ制覇を果たし、東海地区大学野球春季選手権大会への出場を決めました。

岐阜リーグは、中京学院大学との接戦を制し、優勝争いから一步抜け出しました。朝日大学には敗れたものの、9勝3敗、勝ち点4で優勝しました。

今季のチームは、投手では、エース若山蒼人投手（経営④、広島・崇徳高校出身）を中心に多彩な投手陣がそろいました。打撃では、キャプテンの高杯翼選手（経営④、埼玉・花咲徳栄高校出身）を中心に、新戦力の藤本舜選手（人間福祉①、熊本・秀岳館高校出身）、廣部就平選手（スポーツ①、同）らが活躍しました。

最優秀選手賞には、打点王にも輝いた高杯選手が、最優秀投手賞には若山投手がそれぞれ受賞しました。本塁打王には、高杯選手のほか、新井勝寛選手（経営③、青森・八戸学院光星高校出身）、廣部選手が輝きました。藤本選手は新人王とベストナイン（外野手）に選ばれました。

全日本大学野球選手権大会（6月・明治神宮野球場）の出場をかけた東海春季選手権は今年26日、静岡市の清水庵原球場で行われ、三重県代表の四日市大（2季連続7回目）に勝利したものの、静岡県代表の日大国際関係学部（6季連続22回目）に敗れ、5年ぶりの神宮出場にあと一步及びませんでした。なお、高杯選手が優秀選手賞とベストナイン（捕手）、中山将太選手（経営③、市立和歌山高校出身）が首位打者とベストナイン（遊撃手）、高見良太選手（経営④、岡山東商業高校出身）がベストナイン（外野手）に選ばれました。

TOPICS